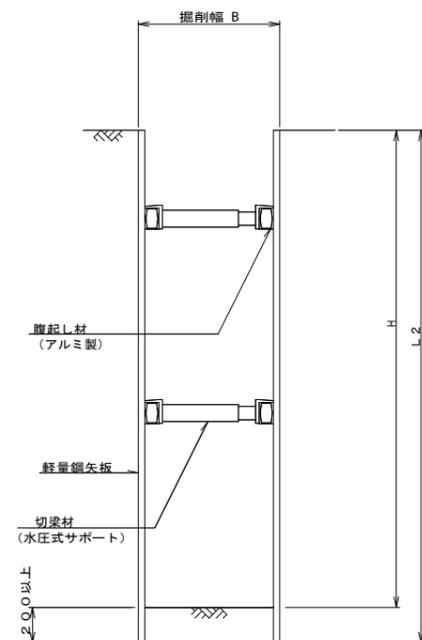
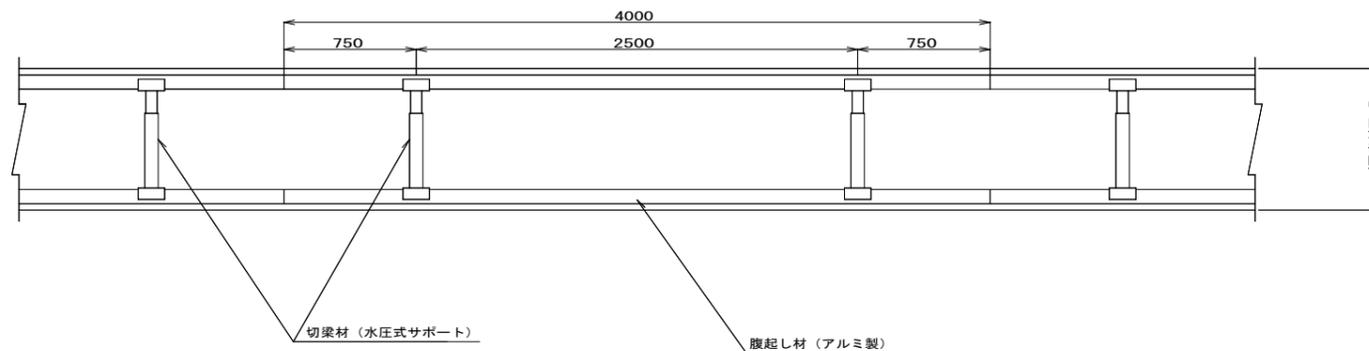


土留工標準図（軽量鋼矢板土留工）（参考図） S=1:20

断面図



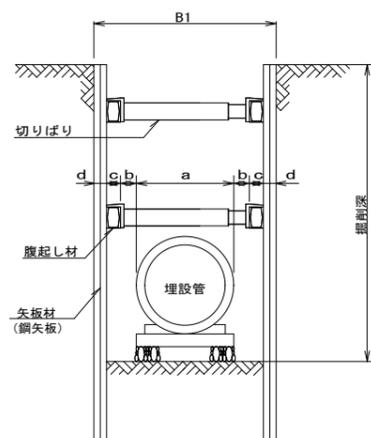
平面図



土留工使用区分

掘削深 H (m)	矢板長 L (m)	段	支保材	
			腹起し材	切梁材
$H \leq 1.3$	1.5	1		
$1.3 < H \leq 1.8$	2.0	1	アルミ製 厚 7cm (参考) L=4.0m	水圧式 サポート
$1.8 < H \leq 2.0$	2.5	1		
$2.0 < H \leq 2.3$	2.5	2		
$2.3 < H \leq 2.8$	3.0	2		
$2.8 < H \leq 3.3$	3.5	2	アルミ製 厚 11cm (参考) L=4.0m	水圧式 サポート
$3.3 < H \leq 3.5$	4.0	2		
$3.5 < H \leq 3.8$	4.0	3		

(1) 管吊下ろしに必要な幅



$$B1 = a + 2(b + c + d)$$

B1 : 掘削幅

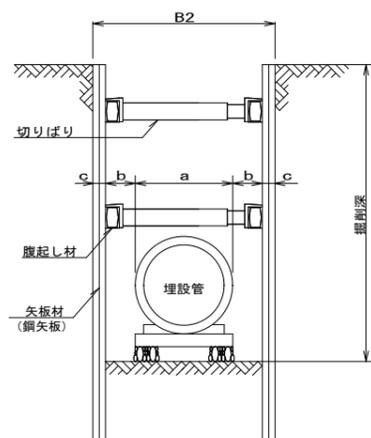
a : 最大外径(継手部を含めた最大管外径とする。)

b : 余裕幅(管吊下ろしに必要な幅で管外面と腹起し材との間隔をいう。)
(両側分 2b=15cm)

c : 腹起し材の幅

d : 矢板材の厚さ

(2) 管布設作業に必要な幅



$$B2 = a + 2(b + c)$$

B2 : 掘削幅

a : 管外径(継手部以外の直線部の外径とする。)

b : 余裕幅 (両側分 2b=60cm)

c : 矢板材の厚さ

掘削幅は、左記の(1)、(2)のうちの最大値。

塩ビ管参考掘削幅

呼び径 (mm)	掘削幅 (mm)
150	850
200	900
250	950
250以上	別途考慮

*本図面は参考であり、仮設方法については施工方法を計画し書面で、監督員の承認を得ること。

事業名	四日市市 下水道事業
名称	土留工標準図
縮尺	S=1:20
工種	
事業主体	四日市市上下水道局